

臨床研修実施責任者の退官に寄せて

新名 清成 副院長（兼内科部長）



昭和58年に当院に医長として就任してから早や28年が経とうとしております。研修医の指導にも携わる機会を頂き、長らく接してきましたが、研修医の先生方に教えられることも多かったような気がします。

私が神経内科の道を選んだのは、すばらしい指導者に巡りあえたことがきっかけでした。当院には多くのすばらしい指導医がおります。研修医より「理想とする医師に出逢えた！」という声も耳にいたします。

当院における研修は3次救急まで行なっているので決して楽ではないかもしれませんが、先輩達は皆、それを乗り越え大きく成長してきました。

当院の研修医は型破りという感じよりは、比較的真面目な医師が多かったような気がしますが、いつの時でも研修を無事に修了し、各専門領域へ巣立っていく姿を見るときは、嬉しいような寂しいような、しかし誇らしげな気持ちがしたものです。

私は、直接的な指導の立場から少し距離をおきますが、今後の医療を支える若人達もいつまでも見守っていきたいと思っております。

(2011. 3. 31)